

2023年度 海士町未来共創基金 説明会

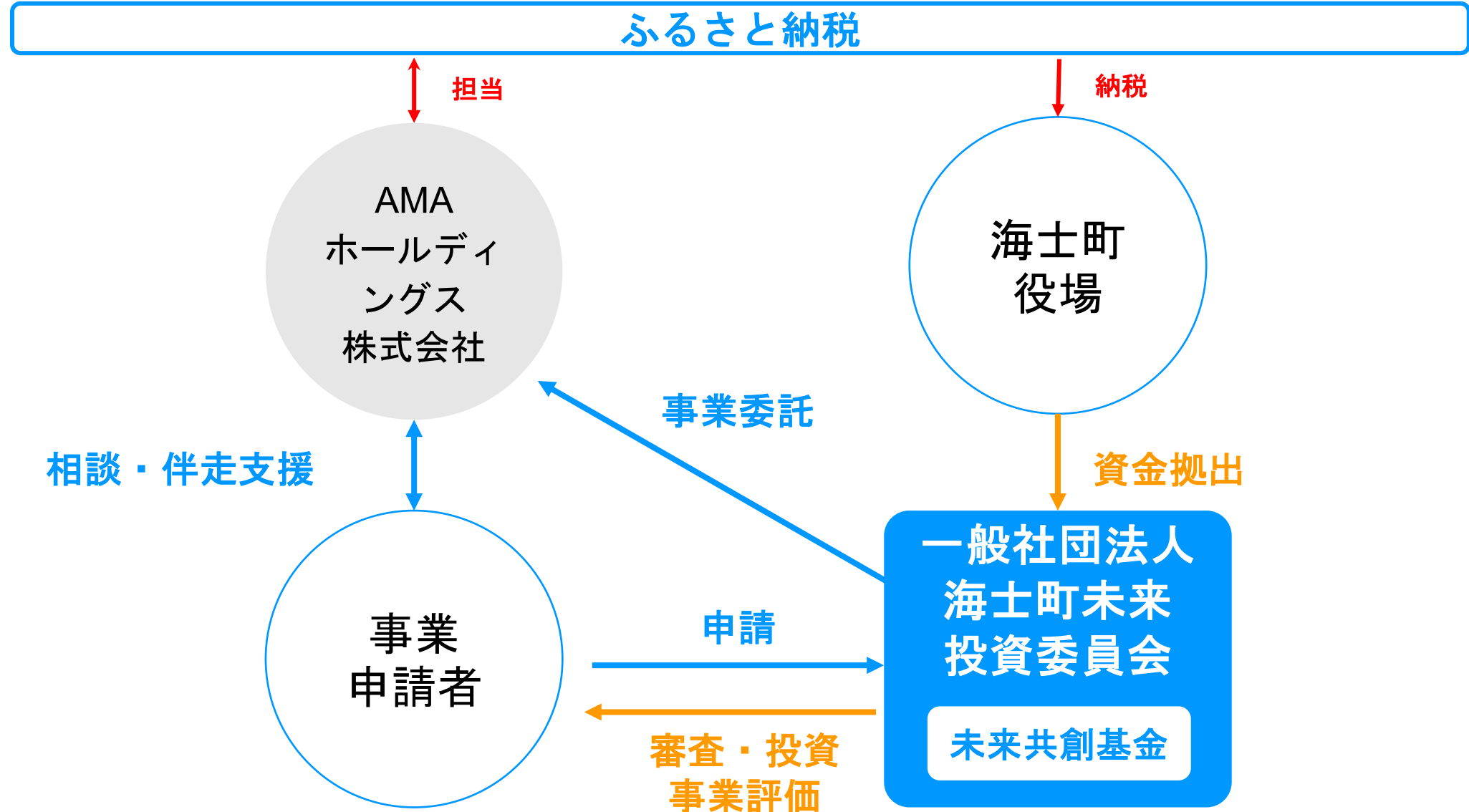
実施日：2023年7月22日・26日 場所：開発センター2F 大会議室

目次

1. 一般社団法人海士町未来投資委員会理事 挨拶	P3	6. 未来投資について	P19
2. AMAホールディングスの役割	P4	他の資金調達との違い	
		2023年度未来投資予定総額	
		これまでの採択事業	
3. 海士町未来共創基金とは	P5	7. 審査に関して	P24
海士町未来共創基金		一次審査基準と提出書類	
ふるさと納税とは		一次審査項目の評価基準について	
ふるさと納税の使い方		二次審査基準と提出書類	
海士町未来共創基金設立の目的		8. 説明会から一次審査結果通知までの流れ	P28
海士町未来共創基金を設立した背景		9. 一次審査通過から二次審査まで	P30
海士町未来共創基金の特徴		10. 二次審査通過通知後の流れ	P32
4. 海士町未来投資委員会とは	P12	11. メディアへの露出と進捗報告について	P34
海士町未来共創基金とは		12. 質疑応答	P36
海士町未来投資委員会メンバー			
5. 未来共創基金への申請に関して	P15		
申請条件			
説明会から未来投資までの流れ			
2023年度（第3期）の新しい仕組み			

一般社団法人海士町未来投資委員会 理事挨拶

■ AMAホールディングスの役割



海士町未来共創基金とは

ふるさと納税を原資にした基金

海士町の未来に繋がる事業へ投資

島の未来を創る熱量に、「今」投資をすること。それによって、魅力・活力ある仕事や役割が創出され、人材が島に還流し続ける。このビジョンの実現に向けて、島民や海士町を応援してくださる方々と共創し、これを資金・経営面から支えるために「海士町未来共創基金」を設立することとしました。

■ ふるさと納税とは

ふるさと納税とは

好きな自治体、応援したい自治体を選んで寄付できる制度



(2,000円を越える部分について)
寄附額のうち**所得税**と**住民税**から
原則として**全額が控除**

※ 寄付額の上限あり



海士町のふるさと納税の使われ方

1. 誰もが安心して暮らせる島の環境設備に関する事業
2. 島の自然環境や伝統文化営みの継承と発展に関する事業
3. 島まるごと教育の魅力化に関する事業
4. 地方と都市、海外との交流による人材育成に関する事業
5. 地域資源を活用した地場産業の振興に関する事業
6. 島の持続可能な経済循環の実現に関する事業
7. 地区の振興に関する事業（地区版ふるさと納税）
8. 海士町未来共創基金に関する事業
9. 新型コロナウイルス等海士流支え合い基金に関する事業
10. 海士町の子どもたちに本物の芸術文化に触れる機会を創出する事業(返礼品なし)

魅力的で持続可能な島の未来のために

人づくりと仕事づくりの
好循環をつくる

■ 海士町未来共創基金を設立した背景

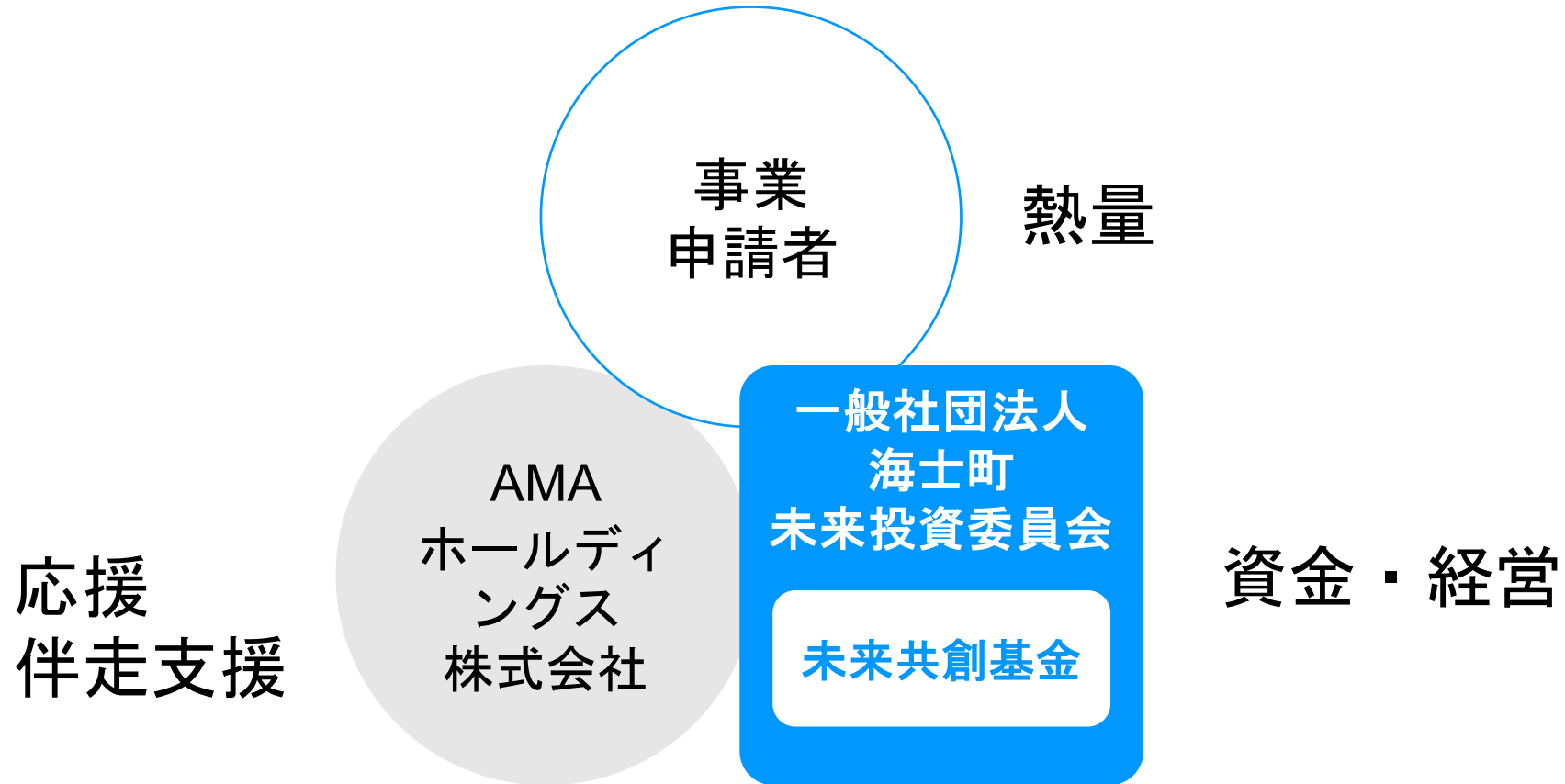
高齢化や人口減少による事業所の廃業 ⇒島の産業構造が崩壊の危機

考えられる原因

- ・ 自分の子どもや島内関係者に事業を継承できていない
- ・ 時代の変化にあわせた新しい事業を生み出せていない
- ・ 島で育った若者が島の仕事に魅力を感じられず、都会に出ていったまま戻ってこない

事業・産業の創出
雇用の創出

共に海士町の未来を創る「共創」



一般社団法人 海士町未来投資委員会とは

海士町の未来に繋がる事業への投資を行う団体

〈設立の目的〉

島の未来のために、産業を活性化し、「人づくり」と「仕事づくり」の相乗効果を高め、好循環をつくること。

人口減少・少子高齢化など日本の課題先進地である海士町で、私たちが新たな挑戦に踏み出すことは、島の未来をつくることであると同時に日本の次の時代を切り拓くことにもつながる。

■ 一般社団法人海士町未来投資委員会メンバー

竹本	吉輝	代表理事（一次産業）
枝廣	淳子	理事（環境）
忝山	聡一郎	理事（金融）
白井	智子	理事（教育）
藤田	諭	理事（財政課課長）



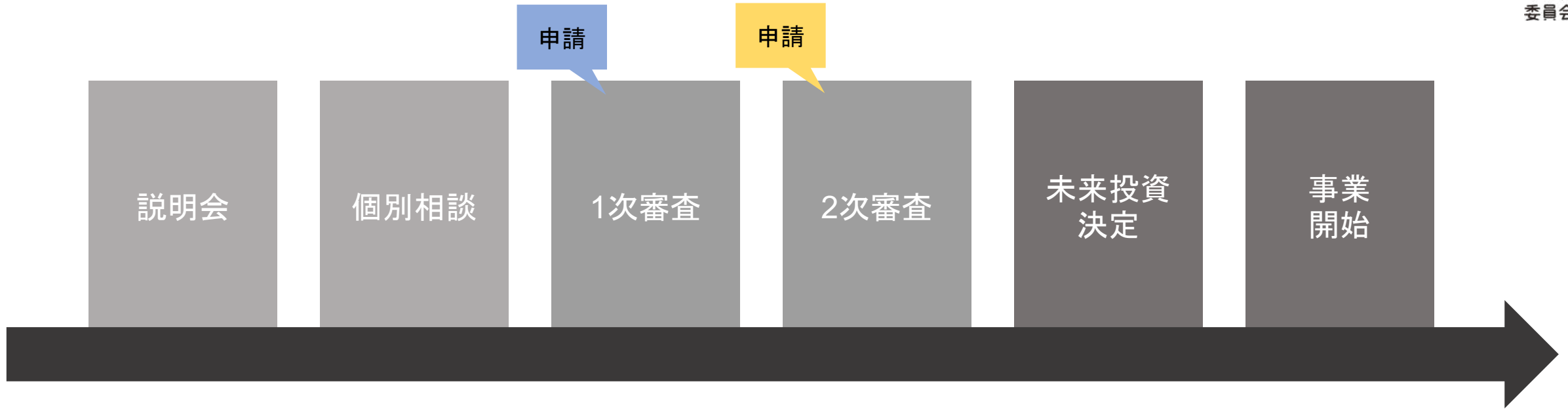
未来共創基金への 申請に関して

申請条件は2つ

海士町の未来につながること

下限500万円

■ 説明会から未来投資までの流れ



AMAホールディングスの役割

申請のための
フォロー

伴走
支援

採択後の
サポート

■ 2023年度（第3期）の新しい仕組み

2023年度（第3期）は2つの公募タイプを設定します

町の課題を解決

「テーマ設定型」公募

2023年度（第3期）のテーマ
「特産品の開発」

海士町がいま挑戦してもらいたいテーマを設定。そのテーマに対して提案してくださる方を募集

自由な発想・視点で

「自由提案型」公募

島の未来のために、産業を活性化する事業を、自由な発想や視点で提案してくださる方を募集

未来投資について

■ 他の資金調達との違い

	公的機関	金融機関	海士町未来共創基金
方法	補助金	借入	未来投資（*造語）
金額目安	数百万	数千万	500万～
目的	行政課題対応	金利の受取	未来への投資・応援
重視する点	公共性	事業性(成長性)	2次審査基準に順ずる
留意点	返済不要、用途制限	返済が必要	方法は事業により検討

2023年の未来投資予定 総額 4,000万

〈下 限〉 500万

〈採択件数〉 自由提案型・テーマ設定型：0~3件
全体を通して4,000万円の中で調整

■ これまでの採択事業



ナマコとともに生きていく
(なまこ漁師会)



海が好きになる
マリンボート事業



海の魅力と安心をつなぐ
マリンサービス



「近くで作って近くで飲む」
牛乳生産事業



休憩

審査に関して

■ 一次審査基準と提出書類

審査員：海士町未来投資委員会 理事(5名)

審査方法：一次審査提出書類(A・B・C)を基に審査項目による加点方式で判断します。

一次審査書類	一次審査項目	主な審査ポイント	配点
A:一次審査申請書 B:収支計画 C:ヒアリング レポート	①事業の主体性	事業主体が明確であり、主体的であるか。中長期的な視点で、やりきる熱量があるか。	5点×5人 (25点)
	②海士町の未来とのつながり	海士町の未来(経済、社会、環境の観点)につながっていると判断できるか	5点×5人 (25点)
	③事業と成果の整合性	これからやろうとしている事業とそれから生まれる成果に整合性はあるのか。	5点×5人 (25点)
	④未来共創基金との適切性	今、未来共創基金での投資が適切なのか	5点×5人 (25点)
※Cは役場担当課職員が作成します。		合計	100点(満点)

■配点基準：審査は上記4つの審査項目ごとに、5段階で評価するものとする。(1点～5点)

各審査項目の評価基準は、別紙参照(P26)

■最低通過基準：70点(①の点数×5人、②の点数×5人、③の点数×5人、④の点数×5人 合計)

■最低通過基準点を取得した事業のうち、得点の上位0～3事業が二次審査に進むことができます。

*申請案件件数と投資の希望金額の合計により、一次審査通過件数は変動します。

■その他：自己紹介動画をご提出してください(3分程度)。参考資料の添付は歓迎します。

■ 一次審査項目の評価基準について

審査項目	
① 事業の主体性	5点：誰が責任をもって実施していくのかがはっきりしており、打ち手を変容させてでも、つくりたい未来を実現するために、中長期的にやり抜く熱量があるか 4点：誰が責任をもって実施していくのかがはっきりしており、打ち手を変容させてでも、つくりたい未来を実現するために、やり抜く熱量があるか 3点：誰が責任をもって実施していくのかがはっきりしており、打ち手を変容させてでも、つくりたい未来を実現するための熱量があるかどうか分からない 2点：事業主体が定まっておらず、打ち手を変容させてでもつくりたい未来を実現するための熱量があるかどうか分からない 1点：事業主体が定まっておらず、打ち手を変容させてでもつくりたい未来を実現するための熱量がない
② 海士町の未来とのつながり	5点：事業を通じて創りたい未来が、海士町の未来（経済、社会、環境の観点）に強くつながっている 4点：事業を通じて創りたい未来が、海士町の未来（経済、社会、環境の観点）につながっている 3点：事業を通じて創りたい未来が、海士町の未来（経済、社会、環境の観点）に少しつながっている 2点：事業を通じて創りたい未来が、海士町の未来（経済、社会、環境の観点）につながっていることが期待できる 1点：事業を通じて創りたい未来が、海士町の未来（経済、社会、環境の観点）に全くつながっていない
③ 事業と成果の整合性	5点：これからやろうとしている事業と、それによって得られる成果の整合性がとれており、事業により海士町にいい成果が生まれることが強く期待できる 4点：これからやろうとしている事業と、それによって得られる成果の整合性がとれており、事業や取り組みにより海士町にいい成果が生まれる可能性を感じる 3点：これからやろうとしている事業と、それによって得られる成果の整合性はあるものの、事業や取り組みがいい成果の決め手となりきれていない 2点：これからやろうとしている事業と、それによって得られる成果が分かりにくく、事業や取り組みを実施することで何も変化が生まれない 1点：これからやろうとしている事業と、それによって得られる成果の整合性が全くとれておらず、事業や取り組みを実施することで何も変化が生まれない。 もしくは良くない影響が考えられる
④ 未来共創基金との適切性	5点：海士町の未来を共創するというスタンスである。「今」未来共創基金として投資をすることで、経済的、社会的・環境的インパクトが生まれる可能性があり、海士町の新しい可能性を引き出せる事業であると感じる。未来共創基金として共創したい、積極的に投資したいと思える 4点：海士町の未来を共創するというスタンスである。「今」未来共創基金として投資をすることで、海士町にとって、経済的、社会的・環境的インパクトが生まれる可能性がある。未来共創基金として共創できる、投資したいと思える 3点：海士町の未来を共創するというスタンスであるが、未来共創基金として「今」投資すべき案件ではないと思われる 2点：海士町の未来を共創するというスタンスはなく、未来共創基金としての投資ではなく、違う資金調達も含めた他のアプローチの方がいいのではないかと考えられる 1点：海士町の未来を共創するというスタンスはなく、未来共創基金として投資をするのにふさわしくない

■ 二次審査基準と提出書類

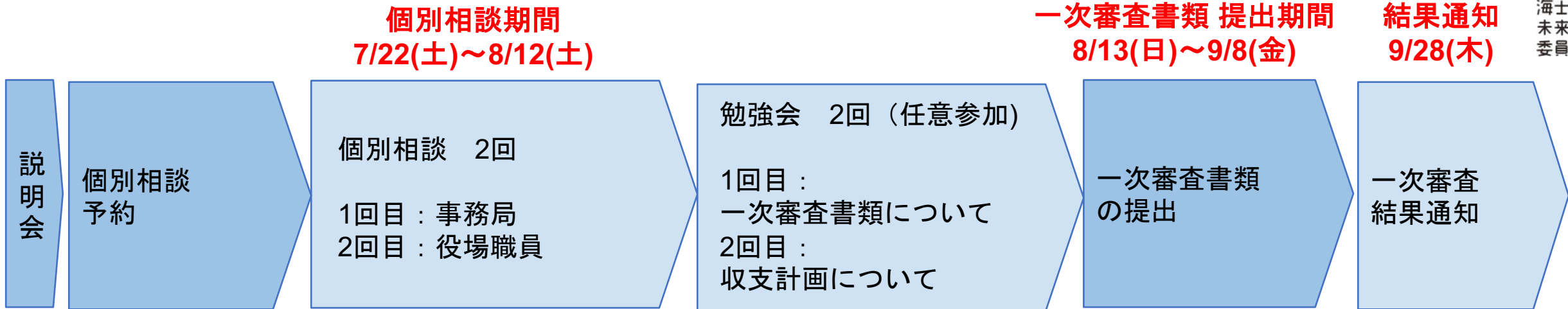
審査員：海士町未来投資委員会 理事(5名)

審査方法：下記審査基準を基に、理事現地訪問・プレゼンなどにより総合的に判断します。

二次審査書類	二次審査項目
<ol style="list-style-type: none"> 1. 二次審査申請書 2. 事業提案書(プレゼンシート) 3. 事業収支計画書(損益計算書・キャッシュフロー・減価償却費) 4. 島内応援者メッセージ10名分 <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 事業計画書に記載した資格・費用を証明する書類の写し(免許・見積もりなど) 6. 経営層の職務経歴書 7. 融資を見込む場合は、金融機関に提出した事業計画書の写し及び金融機関が作成した返済計画書(償還予定表)の写し。自己資金の場合は自己資金の額が分かる資料 8. 法人の場合は決算書3期分 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業の意義 2. 海士町の未来(人づくり・仕事づくり)への貢献度(一人勝ちではなく周りの人に好影響を与える事業であること) 3. 目標達成の実現可能性 4. スケジュールの実現可能性 5. 経済資本の持続可能性(経済的に継続していけるのか) 6. 社会資本の持続可能性(島の社会関係資本を活用しているか、共に実現していく仲間がいるか) 7. 環境資本の持続可能性(世界や日本の環境の動きと連動しているか、島の豊かな自然環境を活かしているか)

説明会から 一次審査結果通知までの流れ

■ 説明会から一次審査結果通知までの流れ



個別相談
予約フォーム
はこちら



期間内に2回
個別相談を実施します。

〈相談内容〉
事業内容のブラッシュ
アップや申請書の書き
方など

第1回
8/3(木) 19:00~20:00
場所：開発センター
内容：
一次審査書類について

第2回
8/8(火) 19:00~20:00
場所：開発センター
内容：
収支計画について

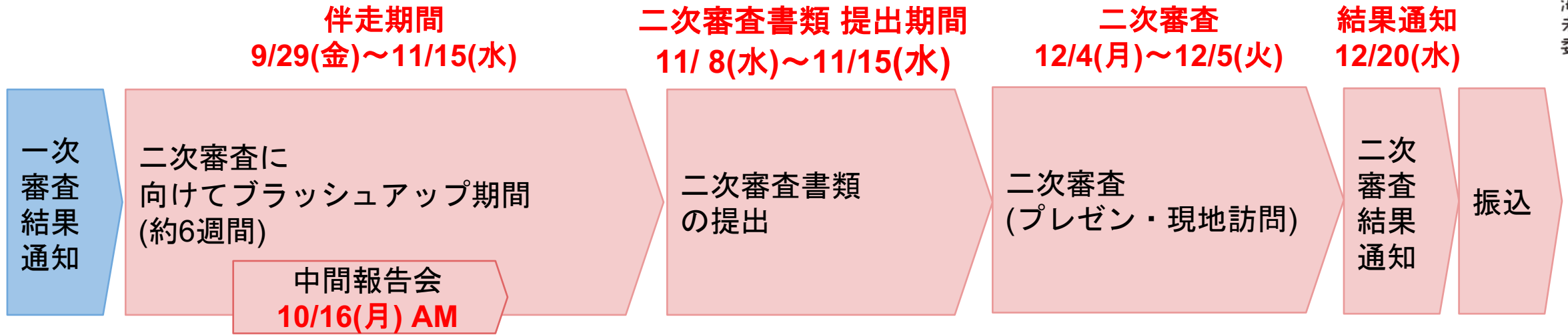
**一次審査書類 提出期間
8/13(日)~9/8(金)**

**提出先
海士町未来共創基金事務局
担当：田中
info@amaholdings.co.jp**

<https://forms.gle/JNPhNvMGoEzG8VuS8>

一次審査通過から 二次審査まで

■ 一次審査通過から二次審査まで * 1次審査通過者のみで実施します。



※事業内容・二次審査申請書類を伴走者・アドバイザーと共にブラッシュアップします。

※中間報告
審査員にオンラインで事業内容の説明をします。審査員からのフィードバック・質問を受けます。

※審査員による二次審査を実施します。事業予定地へ審査員が訪問し、その後事業プレゼンをしていただきます。

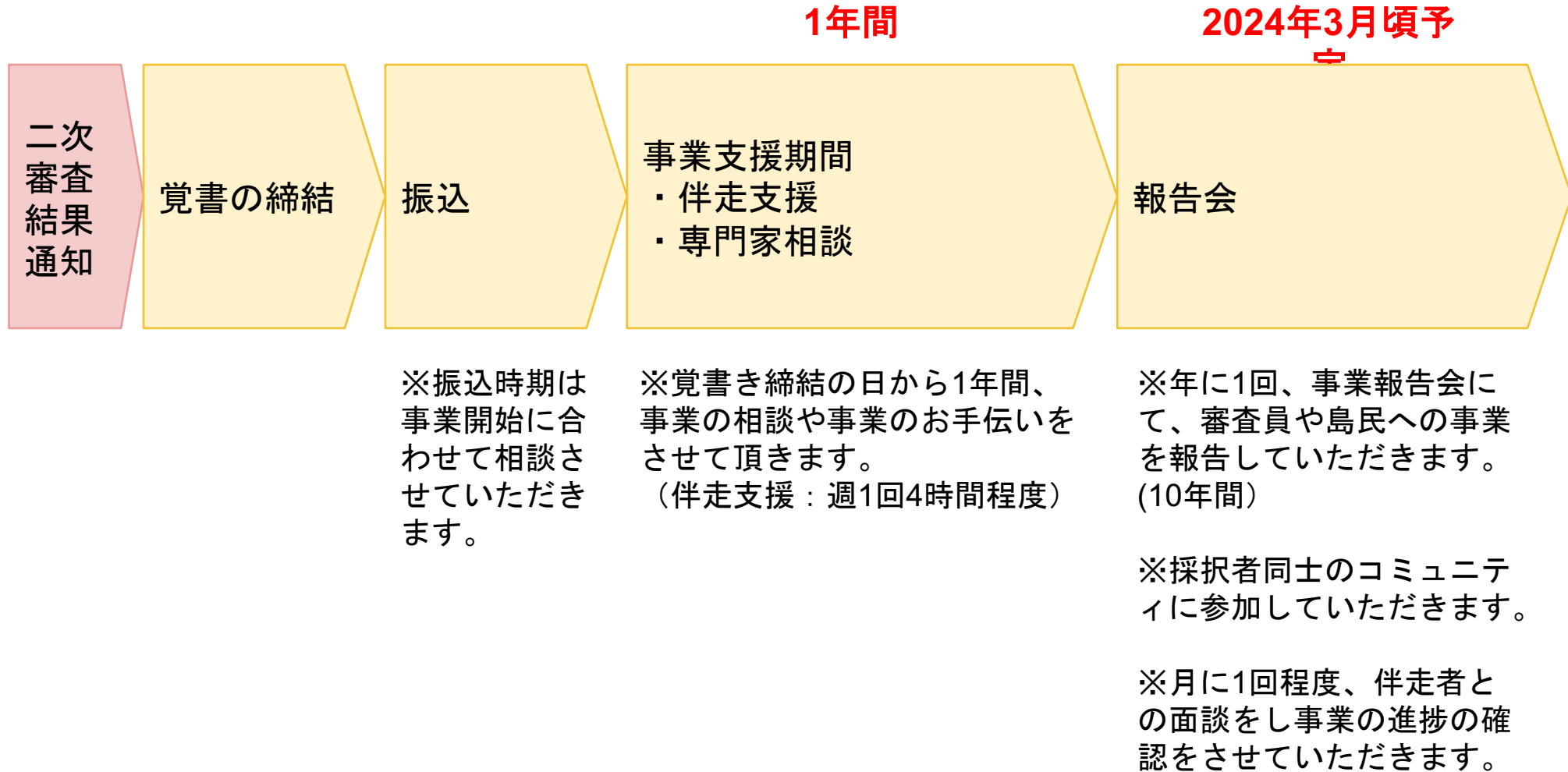
※電子メールにて結果を通知します。

二次審査書類 提出期間11/ 8(水)~11/15(水)

提出先
海士町未来共創基金事務局
担当：田中
info@amaholdings.co.jp

二次審査通過通知後 の流れ

■ 二次審査通過通知後の流れ



■ メディアへの露出と進捗報告について

本基金はふるさと納税を活用した仕組みとなっています。そのため、島内外のみなさまへ、**基金の使い道を正しく伝えることはもちろん、申請者の応援団や共創パートナーになってもらえることを目指しています。**応募にあたっては、下記の情報発信にご協力いただくことをご了承ください。

<情報発信先>

未来共創基金・AMAホールディングスのHPおよびプレスリリース、ふるさと納税FB、海士町note、海士町LINE、あまコミュニティチャンネル（youtube）、広報海士、チャレンジフォーラムへの登壇・取材対応 等

質疑応答

説明会やオンラインで出た質問への回答をまとめたものは、以下URLより確認できます。（8/2公開予定）



■ 問い合わせ先

**海士町未来共創基金事務局
(AMAホールディングス株式会社)
TEL : 08514-2-0017 (海士町役場交流促進課内)
Mail : info@amaholdings.co.jp**